

(参考様式4)

農山漁村活性化プロジェクト支援交付金

事業活用活性化計画目標評価報告書

平成28年9月7日作成

活性化計画名	高俣地区活性化計画			
計画主体名	計画主体コード	計画番号	計画期間	実施期間
山口県萩市	352047	1	平成24～27年度	平成25年度
活性化計画の区域				
高俣地区は、萩市の中心部から約25Kmの東部に位置し、総面積34.42k㎡で農村集落は標高500m級の山に囲まれた里に点在し、その周辺の平地に農地が広がる中山間農業地帯であり、肥沃な農地と冷涼な気候を利用した農業を主産業とする地域である。				

1 事業活用活性化計画目標の達成状況

事業活用活性化計画目標	目標値A	実績値B	達成率(%)) B/A	備考
交流人口の増加率	22.64%	28.00%	123.72%	
地域産物の販売額の増加率	3.03%	2.22%	73.50%	

(コメント)

近年の米価の低迷等により農協共販の販売額が伸びなかったことが影響し、達成率は73.50%と目標に達することができなかったものの、地域連携販売力強化施設の販売額は堅調に推移しており、地域産物の販売に寄与している。

2 目標の達成のために実施した各事業の内容と効果

事業メニュー名	事業内容及び事業量		事業実施主体
地域連携販売力強化施設	木造平屋建 254.09㎡ 機械設備一式		萩市
管理主体	事業着工年度	事業竣工年度	供用開始日
萩市	平成25年度	平成25年度	平成26年4月1日
事業の効果			
<p>本事業により農村女性が中心となって地元農産物などの地域資源を活用した加工・販売が展開することが可能となり、地域の雇用の創出と所得機会の拡大が実現した。</p> <p>また、地域の観光拠点ともなっており、近隣の関連施設との相乗効果もみられる。</p>			

3 総合評価

<p>(コメント)</p> <p>地域産物販売額の増加率については目標を下回ったものの、交流人口の増加率については目標を達成でき、地区全体での経済効果が現れてきている。</p> <p>地域産物販売額については、地区農業者の高齢化やリタイアと米価の低迷等による農協共販販売額の減少の影響が大きく、目標を達成することがなかなか難しい状況にあるが、当該施設を地区の6次産業化、観光の拠点施設として活用することで、地区全体の活性化を推進する。</p>

4 第三者の意見

(コメント)

むつみコミュニティ協議会 会長 高橋正演

地域連携販売力強化施設の整備により、地区の観光施設と一体となった集客につながっている。

また、地区での滞在時間も増え、地元農産物や加工品を購入してもらうことで、地区の魅力を伝えることができるようになった。農産物価格の下落により農家の生産意欲が停滞するなか新たな出荷先として期待されており、施設への出荷に向けた生産計画を立てる農家も出てきている。

今後も雇用の場、地域を盛り上げる場として期待している。